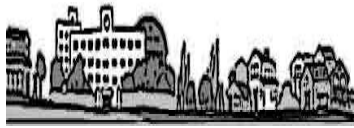




浜ぼうふう



～人，まち，自然が私たちの学校～

太夫浜小学校だより
令和3年1月21日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

G I G Aスクール構想

校長 野瀬 浩司

「G I G Aスクール構想」を、敢えて簡単に言えば、「1人に1台のタブレット端末が、授業でも家庭学習でも活用できる」ということです。新潟市では、概ね12月までに「i P a d」が各学校に納入され、1月中に「G I G A授業開き」（オリエンテーション）を行うことになっています。

当校では、今週20日（水）までに、各学級で授業開き①を行い、i P a dを使っていく際の基本的な考え方や約束事などを指導しました。来週には、「G I G Aスクールサポーター」（外部講師）と一緒に授業開き②を行い、子どもたちが実際にi P a dを使っていきます。ただし、家庭への持ち帰りについては、当面行いません。子どもたちが慣れ親しむ状況を確認しながら、時期を決めていきます。

保護者の皆様には、A3判両面印刷の資料（「1人1台の学習用i P a dを活用した学び」に向けた端末貸与について及び保護者向けQ & A）を配付するとともに、**確認書への署名**をお願いしました。資料については、今後も読み返していただきたい大変重要なものなので、各家庭で保管して（目に付くところに貼って）いただきたいと思います。

さて、冒頭、G I G Aスクール構想について簡単な説明をしましたが、実際に効果的かつ適切に運用していくことは、簡単ではありません。新潟市では、ねらい・目的について、例えば次のような内容を示しています（一部省略や言葉の置き換え等があります）。

- ・学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や（新学習指導要領で大切にしている柱である）「主体的・対話的で深い学び」の実現や、個に応じた指導の充実を図る。
- ・日々の授業の中で情報活用能力を育成・活用しながら、各教科等の資質・能力を育成する。
- ・I C Tの利活用を前提としたこれからの社会の中で、責任をもって行動する方法を理解させ、法を守り、倫理的にふるまう能力とスキルを育成する。

これらを達成するためには、**教職員の意識改革や情報ツール活用能力の向上が不可欠です**。「教師があれこれ言うよりも、たくさん触れさせておけば、子どもはすぐ覚える」という割り切りも必要かもしれませんが、授業で活用する以上、教科等のねらいに沿ったものであることは必須条件です。授業前の教材研究やソフトの活用法などの準備には、事前の研修と膨大な時間が必要となります。

子どもたちの学びを深め、学校生活を豊かにするためにも、**教職員一人一人がこの変革の流れに主体的に向き合い、全力で取り組みます**。一方で、新しく始まることに集中する時間を確保することも大切なので、**教育活動全体を総合的に見直し、行事等をスリム化することも考えていきます**。



G I G A授業開き①の様子